

令和3年度 第2回 瀬戸市国際未来教育特区学校審議会 議事録

日 時：令和3年12月16日（木）午後4時00分から5時16分まで

場 所：瀬戸市役所4階 庁議室

出席者：委員 西淵茂男、丸地弘泰、小出禎子、八槇直幸、清水克博

市 教育長、教育部長、経営戦略部長、政策推進課長、事務局

○教育部長

定刻となりましたので、ただいまから「令和3年度 第2回 瀬戸市国際未来教育特区学校審議会」を開催させていただきます。本日は、ご多忙の中、委員の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また先ほどは、瀬戸 SOLAN 小学校での現地ヒアリングお疲れ様でございました。

傍聴の方に申し上げます。モニターを通してではございますが、「瀬戸市国際未来教育特区学校審議会傍聴要領第5条」に基づき、会議中は静粛にしてください、写真撮影、録画、録音等を行わないようお願いいたします。

また、本日の会議は最終17時30分を予定しておりますので、よろしくようお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、順次進めてまいります。最初に、西淵会長からあいさつをお願いいたします。

1 あいさつ

○西淵会長

みなさま、こんにちは。本日は2回目の瀬戸市国際未来教育特区学校審議会開催となります。

前回の審議会では、瀬戸市長より「瀬戸 SOLAN 小学校の学校評価について」諮問をいただき、学校評価項目についての審議を行いました。また株式会社教育システム長尾氏にお越しいたいただき、開校までの経緯等についてご説明をいただきました。

本日は、学校評価項目として3つ、法令関係・教育内容等・経営診断について各々評価するため、ここまで瀬戸 SOLAN 小学校から提供された資料や先ほどの現地ヒアリングを基に、まずは委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくようお願いいたします。

○教育部長

西淵会長ありがとうございました。それでは、ここからの進行は西淵会長

にお願いしたいと思います。会長、どうぞよろしくお願いいたします。

2 学校評価について

(1) 法令関係について

○西淵会長

それでは、議事を進行いたします。なお、本日は伊藤亜有夢委員がご欠席となっております。出席委員数は瀬戸市国際未来教育特区学校審議会運営規則第6条第2項を満たしておりますので、本審議会は成立いたしますこと、お伝えしておきます。

それではまずは事務局から説明をお願いします。

○教育政策課長

学校評価項目 法令関係について（資料1）説明

○西淵会長

ありがとうございました。今の説明について、委員の皆様、ご質問やご意見などがあれば、挙手をお願いします。

質問なし

○西淵会長

特にご質問やご意見などがなければ、次の議事に進みます。

(2) 教育内容等について

○西淵会長

第1回瀬戸市国際未来教育特区学校審議会で清水委員、小出委員より挙げられていた質問について、瀬戸 SOLAN 小学校より回答がありましたので事務局より報告をお願いします。

○教育政策課長

第1回審議会での質問の回答を報告

○西淵会長

ありがとうございました。今の説明について、委員の皆様、ご質問やご意

見などがあれば、挙手をお願いします。質問していただいた清水先生と小出先生、回答をお聞きになりましてなにか補足、質問、付け足し等ございましたらお願いします。

○清水委員

先ほどの現地ヒアリングでもわかりやすく説明いただいて、よくわかりました。学校カリキュラムをもう少し具体的にさせていただくといいかなと思います。もう少し明確に示された方がいいかなと思います。以上です。

○小出委員

先ほど学校を見せていただいて、子どもたちの嬉々とした活動等、大変よかったです。是非教師の学習体験も充実させていっていただければと思います。以上です。

○西淵会長

ありがとうございました。他に、ご質問やご意見などがなければ、今日の現地ヒアリングを踏まえた意見交換を今からさせていただきたいと思いません。ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思いません。

では今清水委員と小出委員にご意見をいただきましたので、八槇委員の方からご質問した内容やご回答へのお考え等、その辺りをお話いただけるとありがたいです。

○八槇委員

自分が質問したのは、いじめ対策、いじめ防止、それについての評価ということで質問させていただいたのですが、計画の中にいじめに対する色々な方針が述べられていまして、この中に、早期発見のための具体的な案がいくつか述べられていまして、それと実際の活動がどういうふうになっているのかということで、SOLANさんの方でされた自己評価の中に、そういうことがすべて網羅されていたので、どうなのかということで質問させていただきました。まだ開校間がないということ、それから小学校の1年生から3年生までしかいないということもあり、そういうことを考えますと今日の説明にあったようなこと、実際にはそれぐらいになるのかなと思いました。ですから、今後児童数が増えたりすることで、そのところで計画されている防止であったりとかそういったことがこれからなされていくんだろうなど、感想として思いました。

○西淵会長

間がないし人数も少ないということで、ご回答としてははじめはどこでもあるものだと言われているようなことを、十分に早期発見・早期対応していきたいと思って努めていくということでした。人数も少ないし、期間も短いこともあり、今のところいじめというものはないというご回答だったと思いますが、あの中でクラス会議のようなことをされているということなのですが、あの辺は八槇委員のご経験からすると子どもたちだけでやる形なのか、その辺はわからないのですが、いかがでしょうか。

○八槇委員

自分は小学校経験がほとんどなくて、新任から5年間、先ほど隣りに見えてた道泉小学校でお世話になっていましたが、それ以降はずっと中学校でしたので、ああいう形のクラス会議は実際には経験をしたことがありません。ただ、ああいう場で本音が出せるかどうかということが非常に大きなポイントで、本音を出しすぎてしまうとまた問題が大きくなるとか、そういうことも経験としてはあるのですが、ああいう会議ができる環境があるということ自体がわたしは非常に大事だと思います。条件的なものとしては、児童数が35人であったりとか、僕は30人くらいに減るだろうと思っていますが、目標を見ると10何名のところになっていますが、ああいう形のものはやはり人数というものがかなり影響するんだろうなと、あと先生が日頃からどれだけ声をかけて、児童とコミュニケーションをとりながら、あるいは子ども同士のやるもんだという、結局はテーマを1つに絞って本音を出し合うという、この中の課題がいじめに関するものであったりとか目安箱のようなものから出てきた話題であったりとかいうことになると思うので、クラス会議自体は日頃からやるということがやはり大事だろうなと思います。その中に、いじめも入っていると。それが発見であったり防止につながるのだろうなと思います。非常に有効であると思います。

○西淵会長

ありがとうございました。清水先生いかがでしょう、ご専門だと思いますが。

○清水委員

今日校長先生が「若い先生がつくられた本です」と見せてくれて、学級活

動の（１）というものがあって、これは子どもたちが自主的に運営するという
ことで、それについて思ったのですが、文部科学省は小学校の特別活動の
進め方というものがありますけれど、本来は課題を自分たちで見つけていっ
て、それについて解決方法を出し合う、意見を出し合って、それに対して比
較をしていってクラスとして研究していくというやり方が子どもたちある
いは学級活動で、人間関係形成とかクラスのいじめだとかそういった問題に
ついては、原因をまず探ってきて、みんなで解決策を見つけて自己決定して
いくというやり方があるのですが、そういったところと言うと若い先生方で
運用されていますので、基本のところをしっかりとやっていただいて、今世
界でも突出しようとしている日本型教育としての特別活動の良さというこ
ろがやはり国際的な視野を育てるということがあっても、それとは別に日本
型教育として目指していっていけばよいのではと思いました。

あともう一つ気になっているのは、これから学級数が増えていけばいいで
すけども、今の段階ではもともとの瀬戸SOLAN小学校の定員よりも各ク
ラスの人数が少なくて、でも転入も増えてきて人間関係が拡大されてくるこ
ろですので今の小学校３年生の子たちがまだ人数が少ない中で学級編制
を変えれないので、今後４年生、５年生、６年生になっていくにあたって、
今の小学校１、２年生もそうですし、学級編制するとなると難しいので、そ
ういった中で人間関係形成をどう培っていくかということには気になりました。

○西淵会長

ありがとうございました。特別活動の形が、なんと言うのでしょうか、もち
ろん時間割上は法令上の学習指導要領に定められたものがあるんですけど
も、基本的にはPBL、ああいうラーニングの形ですね、他の例えば小学校、
そういったところですね、実践を見るとやっぱりクラス会議と言いますかオ
リエンテーリングという会議が、定期的に行われて、そこが核になってカリ
キュラム上学習へ結んでいくところが非常に特色的なわけですけども、それ
に近いのかなと、逆に。だから生活指導上のいじめ等と、学習上の動きが非
常に具体化しているというようにし難いというか、そういうようなカリキュ
ラム特色が瀬戸SOLAN小学校が目指している形として少しあったかな
と。逆にさっき清水先生がおっしゃったような、きちんとやると言いますか、
そういうものがないので、私は少しアメリカンぽいなと思いました、その
辺はどうなんでしょうね。これからのご提案というかあり方として。

○清水委員

神奈川県の小学校ではそういった話し合いをやっておりますので、そういった先進的な実践校の取り組みを参考にしていって、これまでに日本語教育の中では日本語教育の良さを出しながら課題解決学習を中心とした総合カリキュラムを進めるという話があるのですが、そういったことを少し参考にされていくといいのではないかと思います。それ以外に他の知見と言うか実践とその良さも今後目指していくといいのではないかと思います。

○西淵会長

ありがとうございました。それではカリキュラム内容等、もう少し他にお考えになっていることがありましたらお出しいただきたいと思います。いかがですか。八槨委員、何かありましたらお願いします。

○八槨委員

自分が質問させていただいたところ、道徳とか人権のところですが、文科省から示されている項目、そういったものを別の時期にこの学年でやるのかという、そういった計画がきちんと立てられているか。自分がその時に思ったのが、具体的な内容ですね、つまりどのような資料を使って、どういう導入でどういう形に入ってどんな意見をどうまとめていくのかという、カリキュラムというか毎月第1週はこの資料を使う、こういった形でやるといったようなものがあるのであればもっとわかりやすい。それがなければ、実際にどうやってやっているのか、それぞれの担任の先生あるいはT2の先生方の工夫によってなされているのか、あるいはそれまでの経験によってなされているのか、どちらで資料を探されているのか、そういったものの共有がどのようにされているのかとか、そういったところが少し気になりました。実際にはどのように授業を進めているのか、そこが知りたいと思いました。

○西淵会長

ざっくりしているので、それが特色なんです、じゃあ具体的にどのような進めているのかとなりますよね、確かに。では小出先生いかがですか。

○小出委員

私はスクールバス等の質問をさせていただいたのですが、それに対しては回答させていただいております。1つ、今後人数が増えてきたときに、どうやって通学をしていくのかというのが課題かなと思います。

○西淵会長

ちょっとお聞きしたところ、一番遠い子で1時間30分くらいかかっているということで、その間に結局どんなことをされるのですかと聞くと、タブレットとか本とかを読みながらというのをサジェッションしてみえるみたいですが、時間かかりますからね、普通の小学校が現地にあるのと違って、通うというのが前提なので。多くなってきた場合にはどのような手段になるのか、難しい点があるなと思います。特別支援学校がそういうような形態をとっているんですね。愛知県の港特別支援学校なんかは、かなり遠いところから集めてみえるんですね。だいたい特別支援学校は巨大化しているものですから、コースを分けてバス走らせていますけれども、やはり時間がかかるなど難しい面もありまして、色々手立てを講じながらやっておられます。瀬戸SOLAN小学校の子どもたちも1年生は特にきちっと1時間座ってられないですよ。そこのところはやっぱり先生たちも乗られていて、課題として思ってもらっちゃることかなと思います。この辺は工夫次第だと思います。安全確保の点では、小出先生いかがでしょう。

○小出委員

回答を読ませていただいて、例えば遅刻したお子さんには保護者の方に連絡するですとか、バスの指導の先生とか運転手さんとも頻繁に会議を行って情報共有しているという点はよかったですと思います。

○西淵会長

バススタッフ会議みたいなものですよ。2週間に1回ほど行うということで。会議を行って行って、段々と改善していけばいいと思います。通学の面で他の委員さん、なにかよろしかったでしょうか。

○西淵会長

よろしいでしょうか。では、清水委員、いかがでしょう。

○清水委員

僕が気にしているのが、学校教育マネジメントの視点で見ると、カリキュラムとして1つ1つはいいのですが、全体的な方向性として柱となる探究的な活動、それから課題探究学習とのかかわりをどういうふうにするかということをもう少しきちっとされた方がいいと思います。まだ試行状態だと思

うので、これからずっと学校カリキュラムを作っていく中で、ただ単純に時間数とか、なんの授業をどれだけやったのかとかではなくて、柱とする探究的な活動を課題解決学習がどの教科のどの部分について重要視していくのかとか、そういったことをきちっと進められるような学校カリキュラムマネジメントをやられるといいなと思います。子ども自身のことについては、1つ1つの学習の成果も大事なんですけど、今後そういったものをきちっと1年生から6年生までにどういう力を育てていくかを、カリキュラムを明示する、今は1つ1つの実践に力を入れていращやる、それも価値があると思うので、そこをもう少しまとめていって、整理をしていく必要があるのではと思いました。

○西淵会長

ありがとうございました。

学校から自己評価をいただいております、それを見させていただくわけですけども、今それぞれですね、ご専門の立場から評価をいただくのですが、期間がやっぱり短くて十分精度としてはどうかと、以前もですね、八槇委員の方からも学校目標に照らして一体どうなんだと1番問題なんだぞというご意見もいただいております、そのことも肝に銘じて、評価していこうとなったと思いますけれど、そういうことから見ると、改善すべきものもあって、自己評価が瀬戸SOLAN小学校の側からすると素晴らしいと、それは当然だと思います。我々の立場からするとやっぱりちゃんと見ながら、きちんと評価をしていこうということで、考えておりますがよろしいでしょうか。八槇委員、何かございますでしょうか。

○八槇委員

今日学校に行かせていただいて、改めて思ったのですが、校長先生、理事長先生が子どもの姿を語るときのあの嬉しそうな顔、様子、雰囲気、ああいうものがやはり学校の評価の中に現れていくと、いいなと改めて思いました。学校評価の項目に照らし合わせてどうだということころまでは必要ないかもしれませんが、子どもの姿を語りながら評価をしていくというものが、どこかに欲しいなと。これだけ挙げられている学校評価項目の内容というのは手段ですよ。目標を達成するための手段であって、手段がちゃんとやられているかというのが1つの観点であるので、その手段を全部きちっとやったうえで、目標に対して子どもの姿がどうなんだという、やはりそこは欲しいなと思えました。だから、学校評価項目がすべてであると、完璧であると、で

も子どもはどうなのという話にやっぱりなるわけです。やはりどこかで子どもを照らした課題とといいますか、評価とといいますか、欲しいなと今日改めて思いました。

○西淵会長

ありがとうございました。我々は最終的にもう一度ですね、見直して、具体的な意見を附してですね、評価をしていくことになりますので、総括的です、これは事務局の方にお任せしますが、我々の意見を附して自己評価にプラスしていくということも、相談をさせていただきたいなと思います。教育長、よろしかったでしょうか。

○教育長

はい。よろしくをお願いします。

○西淵会長

それでは次の項目にうつります。「(3) 経営診断について」、まずは事務局から説明をお願いします。

○教育政策課長補佐

経営分析等報告書について説明

○西淵会長

ありがとうございました。ただいまの説明について、委員の皆様、ご質問やご意見などがあれば、挙手をお願いします。

○西淵会長

ご意見は特によろしいでしょうか。確認ですけれども、今の時点での来年の当初児童数は新1年生78人、在校生が67人でよろしいですか。

○教育政策課長補佐

そうですね。合計で145人となります。

○西淵会長

今のところその数でスタートできそうということですね。ただ今後編入

は当然起こりえますので、急に転入してくるですとか。まあこれくらいの人
数ということですね。はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか、
経営のことにつきましてのご質問は。

ではご質問がないようですので、この先の内容は、教育システムの財務面
に関する内容となります。そこで、瀬戸市情報公開条例第7条第1項第3号
によりますと、株式会社教育システムの財務面に関する内容は、法人その他
の団体に関する情報および事業を営む個人の当該事業に関する情報であり、
これ以降の議事は公開するには馴染まない内容と思われます。

そこで、瀬戸市国際未来教育特区学校審議会運営規則第6条第4項に基づ
き、会議を非公開として取り扱いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

委員より、「異議なし」の声

○西淵会長

それでは、これ以降の議事進行については非公開として取り扱いたいと思
います。

○教育部長

それでは、傍聴についても、ここで映像及び音声をオフにさせていただきます
しますので、よろしくお願いします。

ビデオ・音声 OFF

以下、非公開で会議を実施

ビデオ・音声 ON

○西淵会長

ここからの議事進行は、再び公開として取り扱いますので、よろしくお願
いします。

3 その他

(1) 事務局から連絡事項

○西淵会長

事務局から連絡事項の報告をお願いします。

*** 事務局より、評定等の提出期限、次回開催日、市長への答申時期・
公表時期について説明 ***

○西淵会長

ありがとうございました。

それでは以上で、すべての議事を終了しましたので、事務局へお返ししま
す。

○教育部長

以上をもちまして、「令和3年度第2回瀬戸市国際未来教育特区学校審議
会」を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。

閉会 午後5時16分

会長 西淵茂男